

2022年12月26日

大阪市政記者クラブ 様  
 同時提供先：大阪府政記者会、大阪科学・大学記者クラブ

**お問い合わせ先**  
 大阪産業技術研究所 森之宮センター  
 企画部 辻谷  
 TEL：06-6963-8331  
 FAX：06-6963-8015

## 大阪技術研の支援サービスの利用事例と最新の研究成果を紹介！

「企業支援成果事例集(こんなええもんできました)」と「テクノレポート(研究成果)」の2022年度版をリリースしました。

(地独)大阪産業技術研究所(略称：大阪技術研)は、我が国で二番目の規模の公設試験研究機関で、小さな技術的な疑問でも、製品化に向けた課題でも、「親身に寄り添う企業支援」をモットーにしています。府内外のものづくり企業のみならず、より一層ご利用いただくため、今年度も技術支援成果や研究成果をご紹介します2つの広報冊子を発行しました。

### ★「企業支援成果事例集(こんなええもんできました)」

大阪技術研の技術支援メニューをご利用いただき、実際に技術や製品の開発に結びついた30件の具体的な最新事例を通じて、お客様の技術課題に対し大阪技術研が提供した支援メニューと内容を、開発製品や技術の紹介とともに掲載しています。

例えば、

- 母乳に成分が近い乳児用調製乳の開発
- ドローン搭載マルチスペクトル複眼カメラ撮影システムの開発
- ささやき声も聞こえるパーティション「通音パーティション」

など、多くの成果事例をご覧ください。大阪技術研が提供する技術支援について、具体的なイメージを持っていただけます。



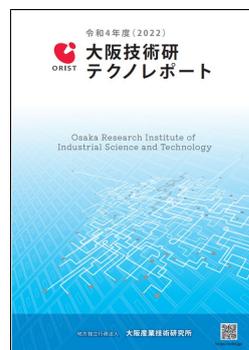
### ★「テクノレポート(研究成果)」

ものづくり企業の技術課題解決に伴走する大阪技術研の研究者ならではの、現場のニーズに応えるヒントやアイデア、なるほどのスキル(技)を盛り込んだ、昨年度の研究成果を紹介しています。

例えば、

- 植物ポリフェノールのキノン架橋を利用した毛髪改良剤
- 光スイッチ型生分解性プラスチックの開発
- 高い透明性と撥水性を両立する新しいコーティング法

などをはじめとする代表的な35件の研究成果と、皆さまの技術課題の解決のために新たに導入した機器についてご紹介しています。



### ○配布方法

大阪技術研ホームページでダウンロードしていただける他、和泉・森之宮両センターにて直接お取り扱いしております。また、大阪産業局(MOBIO、大阪産業創造館)等の支援機関、大阪技術研主催・共催のセミナー等イベント、出展する各種展示会でも配布します。

### ○お問い合わせ・お申し込み先

地方独立行政法人大阪産業技術研究所(受付時間 平日9:00~12:15、13:00~17:30)  
 本部・和泉センター 総合受付・技術相談 0725-51-2525  
 森之宮センター 総合受付 06-6963-8011 技術相談 06-6963-8181

関連HP

地方独立行政法人大阪産業技術研究所 <https://orist.jp/> (top ページ)  
<https://orist.jp/kouhou/result-collection.html> (企業支援成果事例集)  
<https://orist.jp/kouhou/techno-report.html> (テクノレポート)

関連資料

備考

## 【一部抜粋】

### ○企業支援成果事例集

#### 母乳に成分が近い乳児用調製乳の開発



##### 目指したもの

母乳に成分が近い乳児用調製乳を開発したい。

##### 課題

- 調製乳と母乳から脂質を効率よく抽出する
- 脂質を従来より詳細に分析する
- 母乳と調製乳の脂質を栄養価の観点から比較する

##### 大阪技術研の支援内容

- 脂質抽出効率を向上させる方法を確立
- 脂質の詳細な分析

##### 受賞・特許など

第70回工業技術賞（2020年）  
 「日本初の乳児用液体ミルク  
 『アイフレオ 赤ちゃんミルク』の開発」  
 公開番号：特開2020-99234（P2020-99234A）  
 発明の名称：乳児用調製液状乳及びその製造方法並びに容器詰液状乳

●支援メニュー

技術相談 装置使用 受託研究

企業名	江崎グリコ株式会社
所在地	大阪市西淀川区歌島4丁目6番5号
URL	<a href="https://www.glico.com/jp/">https://www.glico.com/jp/</a>
事業内容	菓子、冷菓、飲料、加工食品、牛乳・乳製品、食品原料などの食品製造販売

### ○テクノレポート（研究成果）

#### 植物ポリフェノールのキノン架橋を利用した毛髪改良剤

（生物・生活材料研究部 食品工学研究室）

植物に含まれるポリフェノールは、抗酸化作用や抗炎症作用など多彩な生理機能を示すため、健康に役立つ成分として脚光を浴びています。また、ポリフェノールが持つ特徴の一つに酸化されやすい性質が挙げられます。

当研究所では、ポリフェノールの酸化物がタンパク質に結合し、タンパク質同士を強固に架橋させることを見出しました。このキノン架橋反応を応用し、ヘアケア製品を企業と共同で開発しました。カラーやブリーチ処理で損傷した毛髪を植物ポリフェノールでキノン架橋すると、強度が健常毛と同程度まで改善して毛髪の千切れを防止するだけでなく、毛髪のウネリやハネも抑えられます。毛髪以外の素材に対してもこのようなキノン架橋技術の応用を目指しています。

※本研究成果は、繊維機

械学会、化粧品開発学アカデミックフォーラム等で講演発表。フレグランスジャーナルに論文発表、特許出願。製品化。

